

# さんちょう ふじみ衛生組合三調だより

第30号 令和4年6月発行  
ふじみ衛生組合  
(組織市：三鷹市・調布市)



「ふじみ衛生組合三調だより」第30号は、リサイクルセンターの更新、脱炭素社会の構築に向けた実証実験結果、「処理施設緊急時及び要望等対応マニュアル」に基づく公表、今年度の地元協議会・安全衛生専門委員会開催予定、ごみ搬入量等実績、排ガス測定結果をお伝えします。



エントツくん

## リサイクルセンターの更新について

ふじみ衛生組合では、平成7（1995）年1月から稼働している「リサイクルセンター」の老朽化等に伴い、新施設の整備が必要となっていることから、令和4（2022）年3月に「リサイクルセンター整備基本計画」を策定しました。

策定に当たりましては、市民の皆様から、パブリックコメント、説明会、地元協議会を通じて、計48件の貴重なご意見をいただきました。厚くお礼を申し上げます。いただいたご意見は、今後、整備や運営を検討する際の参考にさせていただきます。

### 整備基本計画の主な内容

- 現在の中央棟を建て替え、東棟、北棟の機能を併せ持たせる。
- 令和9（2027）年度の竣工、稼働を目指す。
- 建設費として70億円（税別）を想定する。

### 新施設の整備基本方針

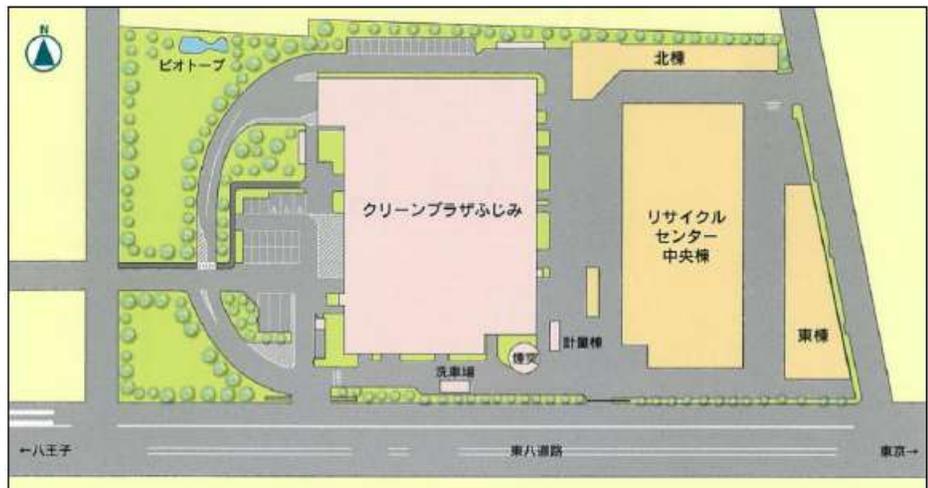
- 循環型社会形成に資する安定した処理が可能な施設
- 地球環境に優しい施設
- 安全な処理を行う施設
- 災害に対して強靱な施設
- 周辺環境に配慮した施設
- 地域との調和を図る施設
- 経済性に配慮した施設
- 環境教育の拠点となる施設

### 本年度の予定

- より具体的な「実施計画」を策定
- 工事や新施設の稼働が周辺の生活環境に与える影響を調査、評価（令和6（2024）年度末まで）
- 新施設の整備、運営を担う事業者を選定（令和6（2024）年度末まで）
- 地質・測量調査を実施

### 新施設と現施設の比較

	新しいリサイクルセンター	現在のリサイクルセンター
1	容器包装プラの資源化率78%	容器包装プラの資源化率56%
2	ピットを設置するなど貯留容量を拡充	貯留容量が小さい
3	すべての作業を建物内で行う	一部の作業を屋外で行っている
4	作業環境の向上、安全性の向上が図れる	労働安全衛生上の課題が多い
5	粗大ごみなどを持ち込むことができる	持込みできない
6	見学者ルートを確認	見学できない
7	環境学習の場や機会をつくる	環境学習を行っていない
8	学習室などを市民に貸し出す	貸出施設がない
9	災害時でも安定的なごみ処理を継続	状況によっては機能停止
10	大規模災害発生時の一時避難場所として活用	対応不可



現在のふじみ衛生組合の配置図

## 脱炭素社会の構築に向けた実証実験結果について

ふじみ衛生組合では、脱炭素社会の構築に向け、焼却施設（クリーンプラザふじみ）から排出される排ガス中の「二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）の分離回収実証実験」を昨年の秋から実施しています。

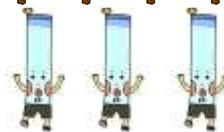
この度、実証実験において、排ガスから回収したCO<sub>2</sub>の回収率が90%以上であること、回収したCO<sub>2</sub>の純度が99.5%以上であることを確認するとともに、三菱ガス化学株式会社の協力を得て、回収したCO<sub>2</sub>を用いてメタノールを製造することに日本で初めて成功しました。メタノールは別名メチルアルコールで、プラスチックや合成繊維、燃料など多種多様な用途に利用できますので、実用化されればCO<sub>2</sub>の排出量削減だけでなく、資源循環型社会の形成にもつながります。

一方、現在の技術では、CO<sub>2</sub>の回収に多くのエネルギーが必要であること、実用化レベルのCO<sub>2</sub>の回収施設を整備するためには、焼却施設と同等かそれ以上の用地が必要であること、CO<sub>2</sub>を効率的に運搬するためには、CO<sub>2</sub>を液化する必要があることなど、解決しなければならない課題も、たくさんあります。これらの課題の解決に向け、ふじみ衛生組合では、引き続き実証実験を行ってまいります。



CO<sub>2</sub>分離回収試験設備

## 「処理施設緊急時及び要望等対応マニュアル」に基づく公表について



ふじみ衛生組合では「処理施設緊急時及び要望等対応マニュアル」を作成し、施設稼働における緊急時の対応手順と当組合に寄せられた要望等の処理手続きを定め、実績を年度ごとに公表することとしています。

令和3年度中（令和3年4月1日～令和4年3月31日）の廃棄物処理施設の緊急事象及び要望等はありませんでした。

## 令和4年度ふじみ衛生組合地元協議会及び安全衛生専門委員会開催予定について

【地元協議会】第72回地元協議会は、令和4年6月6日（月）に開催しました。今年度は、令和4年9月、11月、令和5年1月、3月頃に開催予定です。

【安全衛生専門委員会】令和4年7月6日（水）19時から、クリーンプラザふじみの3階研修ホールにて開催予定です。

※傍聴の案内は、三鷹市及び調布市の市報、ふじみ衛生組合ホームページに掲載します。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、開催時期・開催方法が変更となる場合があります。

## ごみ搬入量等実績

※武蔵野市との相互支援により、三鷹市が武蔵野市へ搬入したごみを搬入実績に加え、武蔵野市がクリーンプラザふじみに搬入したごみは搬入実績から除いています。

クリーンプラザふじみ 処理実績		令和3年度 (2021年度)	令和2年度 (2020年度)	増減		増減率		
搬入合計	搬入量	77,056.35 トン	74,340.89 トン	2,715.46	トン	3.7	%	
	搬入台数	57,622 台	55,139 台	2,483	台	4.5	%	
内訳	三鷹市	搬入量	29,913.13 トン	30,200.99 トン	▲ 287.86	トン	▲ 1.0	%
		搬入台数	25,148 台	24,983 台	165	台	0.7	%
	調布市	搬入量	36,507.86 トン	36,151.12 トン	356.74	トン	1.0	%
		搬入台数	21,950 台	21,485 台	465	台	2.2	%
	組合残渣	搬入量	7,116.54 トン	7,626.69 トン	▲ 510.15	トン	▲ 6.7	%
		搬入台数	8,867 台	8,587 台	280	台	3.3	%
	大崎市 (災害廃棄物)	搬入量	0.00 トン	362.09 トン	▲ 362.09	トン	皆減	%
		搬入台数	0 台	84 台	▲ 84	台	皆減	%
	小平市 (広域支援)	搬入量	3,518.82 トン	0.00 トン	3,518.82	トン	皆増	%
		搬入台数	1,657 台	0 台	1,657	台	皆増	%
	焼却量		75,847.96 トン	72,838.31 トン	3,009.65	トン	4.1	%



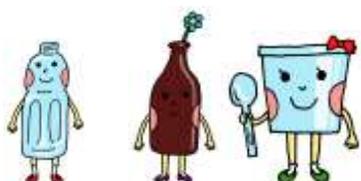
## 排ガス測定結果



※いずれの項目も、自主規制値又は基準値以下となり、問題ありませんでした。

排ガス測定項目	自主規制値 又は基準値	令和4年2月		令和4年4月		備考
		1号炉	2号炉	1号炉	2号炉	
ばいじん	0.01g/m <sup>3</sup> N以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	年6回測定
硫黄酸化物	10ppm以下	0.8	0.7未満	3.2	4.2	年6回測定
塩化水素	10ppm以下	0.4	0.4	2.5	4.9	年6回測定
窒素酸化物	50ppm以下	39	36	32	41	年6回測定
鉛	10mg/m <sup>3</sup> N以下	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	年6回測定
カドミウム	1mg/m <sup>3</sup> N以下	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	年6回測定
亜鉛	—	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	年6回測定
水銀	0.05mg/m <sup>3</sup> N以下	0.00013	0.00033	0.00011	0.00014	年6回測定
一酸化炭素	100ppm以下	6	1未満	10	7	年6回測定
ダイオキシン類	0.1ng-TEQ/m <sup>3</sup> N以下	1号炉 0.00000026 2号炉 0.0000003 ※いずれも令和3年11月に測定				年2回測定

1号炉・2号炉の大気環境測定結果は、ふじみ衛生組合のホームページからもご覧いただけます。  
ふじみ衛生組合ホームページはこちら↓



問合せ先：ふじみ衛生組合総務課環境企画係

〒182-0012東京都調布市深大寺東町7-50-30

電話：042-490-5374 FAX：042-482-5491 E-mail:fujimi@fujimieiseikumiai.jp